



2023年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2023年2月2日

上場会社名 寿スピリッツ株式会社

上場取引所 東

コード番号 2222 URL <https://www.kotobukispirits.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 河越 誠剛

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 グループ経営管理本部長 (氏名) 松本 真司

TEL 0859-22-7477

四半期報告書提出予定日 2023年2月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第3四半期の連結業績(2022年4月1日～2022年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する 四半期純利益 | |
|---------------|--------|------|-------|-------|-------|-------|----------------------|-------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2023年3月期第3四半期 | 35,370 | 54.3 | 6,856 | 696.8 | 7,176 | 223.7 | 4,711 | 218.9 |
| 2022年3月期第3四半期 | 22,921 | 40.6 | 860 | | 2,216 | | 1,477 | |

(注) 包括利益 2023年3月期第3四半期 4,758百万円 (218.5%) 2022年3月期第3四半期 1,494百万円 (%)

| | 1株当たり四半期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益 |
|---------------|-------------|------------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 2023年3月期第3四半期 | 151.39 | |
| 2022年3月期第3四半期 | 47.47 | |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|---------------|--------|--------|--------|----------|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 2023年3月期第3四半期 | 33,779 | 24,152 | 71.5 | 776.12 |
| 2022年3月期 | 27,470 | 20,356 | 74.1 | 654.15 |

(参考) 自己資本 2023年3月期第3四半期 24,152百万円 2022年3月期 20,356百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|--------------|--------|--------|--------|-------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 2022年3月期 | | 0.00 | | 30.00 | 30.00 |
| 2023年3月期 | | 0.00 | | | |
| 2023年3月期(予想) | | | | 30.00 | 30.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する 当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|----|--------|------|-------|-------|-------|-------|---------------------|-------|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 46,400 | 44.1 | 7,950 | 466.7 | 8,280 | 183.4 | 5,413 | 182.6 | 173.94 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有

新規 社 (社名) 、 除外 1 社 (社名) Honey Sucrey Limited

詳細は、添付資料8ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

| | | | |
|------------|--------------|----------|--------------|
| 2023年3月期3Q | 31,121,520 株 | 2022年3月期 | 31,121,520 株 |
|------------|--------------|----------|--------------|

期末自己株式数

| | | | |
|------------|---------|----------|---------|
| 2023年3月期3Q | 2,279 株 | 2022年3月期 | 2,208 株 |
|------------|---------|----------|---------|

期中平均株式数(四半期累計)

| | | | |
|------------|--------------|------------|--------------|
| 2023年3月期3Q | 31,119,268 株 | 2022年3月期3Q | 31,119,325 株 |
|------------|--------------|------------|--------------|

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法について)

四半期決算補足説明資料はTDnetで同日開示するとともに、当社ホームページに掲載いたします。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------------|---|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 3 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 3 |
| 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 | 4 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 4 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 6 |
| 四半期連結損益計算書 | |
| 第3四半期連結累計期間 | 6 |
| 四半期連結包括利益計算書 | |
| 第3四半期連結累計期間 | 7 |
| (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 8 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 8 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 8 |
| (連結範囲の変更又は持分法適用の範囲の変更) | 8 |
| (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) | 8 |
| (四半期連結貸借対照表関係) | 8 |
| (追加情報) | 8 |
| (セグメント情報等) | 9 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における当社グループを取り巻く事業環境は、3年ぶりに行動制限のない夏季シーズンや年末年始・帰省シーズンを迎え、また、昨年10月から始まった全国旅行支援や水際対策の緩和も加わり、人流は総じて回復基調となり、持ち直しの兆しが見られました。一方、新型コロナウイルス感染症に対する潜在的な不安に加え、原材料価格やエネルギー価格の高騰による物価上昇などにより、消費マインドの冷え込みが懸念されるなど、先行き不透明な状況が続いております。

このような状況の中、当社グループは、日本中の人々の幸福と日本経済復活に貢献すべく、2022年経営スローガン「全日本リバイバル宣言」を掲げ、「プレミアム・ギフトスイーツ」の更なる美味しさの追求と品質の向上に拘り、売場拡大、販売力強化、季節イベント対策の推進、インバウンド復活に向けた準備などの重点施策を推進いたしました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は35,370百万円（前年同期比54.3%増）、営業利益は6,856百万円（前年同期比696.8%増）、経常利益は7,176百万円（前年同期比223.7%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は4,711百万円（前年同期比218.9%増）となりました。

セグメント別の経営成績は次のとおりであります。

① シュクレイ

シュクレイは、更なるブランド認知度の向上に向け、主力商品対策に注力するとともに、新商品及び限定商品の発売や季節イベント対策の強化、期間限定出店の推進などに取り組みました。出退店では、昨年4月に阪神梅田本店に“チーズ with ハニー”をコンセプトにしたスイーツを展開する新ブランド「DROOLY（ドロリー）」を、同年9月にあべのハルカス近鉄本店に「ザ・マスターbyバターパトラー」を出店するなど、計6店の出店及び2店の退店を行いました。その結果、売上高は14,281百万円（前年同期比67.9%増）、営業利益は2,814百万円（前年同期比390.9%増）となりました。

② ケイシイシイ

「ルタオ」ブランドを擁するケイシイシイは、道内店舗では、ルタオ周年祭の開催や店舗限定スイーツの発売などによる集客力の強化に努めました。また、首都圏で展開している「PISTA&TOKYO（ピスタアンドトキョー）」、「Now on Cheese♪（ナウオンチーズ）」、「岡田謹製あんバター屋」では、主力商品対策の強化、限定商品の発売及び期間限定出店などに取り組みました。通信販売では、季節イベント対策の強化に注力し、また、自社ECでは、名前や住所を知らない相手にも気軽にギフトを送れる新サービス「ルタオeギフト」を導入し、お客様の利便性の向上を図りました。その結果、売上高は9,693百万円（前年同期比29.7%増）となり、営業利益は1,314百万円（前年同期比442.0%増）となりました。

③ 寿製菓・但馬寿

寿製菓・但馬寿は、旅行土産需要の回復に備え代理店及びグループ会社との連携強化を図り、新商品開発などに注力いたしました。また、山陰地区では、主力商品「因幡の白うさぎ」の対策強化、「お菓子の壽城」ではイベント開催などによる集客力の強化に努めました。新規事業では、沖縄・国際通りにパインスイーツ専門店「newQ（ニューキュー）」を出店するなど新たな販路開拓に取組みました。その結果、売上高は7,669百万円（前年同期比62.7%増）、営業利益は1,408百万円（前年同期は営業利益60百万円）となりました。

④ 販売子会社

販売子会社は、交通拠点チャンネルを重点に、主力商品対策の強化などに注力いたしました。エリア別では、関西地区で新商品「大阪はちみつクワトロフォルマッジ」及び本家佳長「八坂圓堂監修京野菜てんぷらせんべい」の専用什器による売場獲得に注力し、岡山地区では新商品「天使の恋 白桃のチーズケーキ」を、東海地区では新商品「小倉トーストチーズケーキ」など自家需要対策として、冷凍ケーキの拡販にも取り組みました。その結果、売上高は3,896百万円（前年同期比75.3%増）、営業利益は323百万円（前年同期は営業損失117百万円）となりました。

⑤ 九十九島グループ

九十九島グループは、長崎及び福岡地区において主力商品「九十九島せんべい」の対策強化、40周年を迎えた赤い風船「はなかご」のリニューアルによる販売強化などに注力いたしました。また、フレンチトースト専門店「アイボリッシュ」では、「フレンチトーストフィナンシェ」などのギフト商品による期間限定出店を推進いたしました。その結果、売上高は3,325百万円（前年同期比61.2%増）、営業利益は274百万円（前年同期は営業損失294百万円）となりました。

⑥ その他

その他は、損害保険代理業、健康食品事業、海外（台湾）における菓子事業が含まれております。売上高は514百万円（前年同期比38.8%増）となり、営業利益は62百万円（前年同期比634.1%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、33,779百万円となり、前連結会計年度末に比べ6,309百万円増加いたしました。主な要因は、受取手形及び売掛金の増加(3,656百万円)、現金及び預金の増加(2,226百万円)などの要因によるものです。

負債は9,627百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,513百万円増加いたしました。主な要因は、未払法人税等の増加(1,145百万円)、支払手形及び買掛金の増加(908百万円)、未払金の増加(477百万円)などの要因によるものです。

純資産は24,152百万円となり、前連結会計年度末に比べ3,795百万円増加いたしました。主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上による増加(4,711百万円)、配当金の支払いによる減少(933百万円)などの要因によるものです。

この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末に比べ2.6ポイント減少し71.5%となり、1株当たり純資産は776円12銭となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期業績予想に関しましては、人流回復などにより当第3四半期連結会計期間の業績が好調に推移したことを踏まえ、2022年11月1日公表の通期業績予想を修正いたしております。詳しくは、本日別途開示の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (2022年3月31日) | 当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日) |
|---------------|-------------------------|-------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 9,912,584 | 12,138,703 |
| 受取手形及び売掛金 | 3,767,856 | 7,424,337 |
| 商品及び製品 | 1,416,694 | 1,810,278 |
| 仕掛品 | 37,905 | 80,025 |
| 原材料及び貯蔵品 | 540,832 | 736,601 |
| その他 | 128,925 | 339,839 |
| 貸倒引当金 | △299 | △460 |
| 流動資産合計 | 15,804,497 | 22,529,323 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物(純額) | 4,006,807 | 3,848,737 |
| 機械装置及び運搬具(純額) | 2,031,524 | 1,816,049 |
| 工具、器具及び備品(純額) | 296,244 | 287,225 |
| 土地 | 2,855,362 | 2,855,157 |
| リース資産(純額) | 8,144 | 11,419 |
| 建設仮勘定 | 9,471 | 4,162 |
| 有形固定資産合計 | 9,207,552 | 8,822,749 |
| 無形固定資産 | 142,219 | 120,891 |
| 投資その他の資産 | | |
| その他 | 2,321,415 | 2,312,070 |
| 貸倒引当金 | △5,250 | △5,250 |
| 投資その他の資産合計 | 2,316,165 | 2,306,820 |
| 固定資産合計 | 11,665,936 | 11,250,460 |
| 資産合計 | 27,470,433 | 33,779,783 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 922,666 | 1,831,156 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 239,880 | 240,180 |
| 未払金 | 952,012 | 1,429,364 |
| 未払法人税等 | 908,371 | 2,053,564 |
| 賞与引当金 | 767,274 | 478,456 |
| その他 | 830,216 | 1,194,326 |
| 流動負債合計 | 4,620,419 | 7,227,046 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 485,980 | 317,190 |
| 退職給付に係る負債 | 1,815,031 | 1,891,940 |
| その他 | 192,302 | 191,412 |
| 固定負債合計 | 2,493,313 | 2,400,542 |
| 負債合計 | 7,113,732 | 9,627,588 |

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (2022年3月31日) | 当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日) |
|---------------|-------------------------|-------------------------------|
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 1,217,800 | 1,217,800 |
| 資本剰余金 | 1,323,161 | 1,323,161 |
| 利益剰余金 | 17,799,692 | 21,548,202 |
| 自己株式 | △4,158 | △4,685 |
| 株主資本合計 | 20,336,495 | 24,084,478 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 5,980 | 17,665 |
| 為替換算調整勘定 | △6,118 | 29,139 |
| 退職給付に係る調整累計額 | 20,344 | 20,913 |
| その他の包括利益累計額合計 | 20,206 | 67,717 |
| 純資産合計 | 20,356,701 | 24,152,195 |
| 負債純資産合計 | 27,470,433 | 33,779,783 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日) |
|------------------|--|--|
| 売上高 | 22,921,465 | 35,370,073 |
| 売上原価 | 10,495,408 | 14,228,254 |
| 売上総利益 | 12,426,057 | 21,141,819 |
| 販売費及び一般管理費 | 11,565,576 | 14,285,447 |
| 営業利益 | 860,481 | 6,856,372 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 94 | 116 |
| 受取配当金 | 4,197 | 5,915 |
| 受取地代家賃 | 39,983 | 38,803 |
| 助成金収入 | 1,281,646 | 246,656 |
| その他 | 39,512 | 36,685 |
| 営業外収益合計 | 1,365,432 | 328,175 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 902 | 390 |
| 売上割引 | 670 | 1,958 |
| その他 | 7,539 | 5,535 |
| 営業外費用合計 | 9,111 | 7,883 |
| 経常利益 | 2,216,802 | 7,176,664 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | 383 | 247 |
| 関係会社清算益 | — | 2,277 |
| 特別利益合計 | 383 | 2,524 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産売却損 | 2,795 | — |
| 固定資産除却損 | 4,200 | 6,214 |
| 投資有価証券売却損 | — | 400 |
| 減損損失 | 26,777 | — |
| 特別損失合計 | 33,772 | 6,614 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 2,183,413 | 7,172,574 |
| 法人税等 | 706,056 | 2,461,430 |
| 四半期純利益 | 1,477,357 | 4,711,144 |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 1,477,357 | 4,711,144 |

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日) |
|-----------------|--|--|
| 四半期純利益 | 1,477,357 | 4,711,144 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 5,909 | 11,685 |
| 為替換算調整勘定 | 6,836 | 35,257 |
| 退職給付に係る調整額 | 4,186 | 569 |
| その他の包括利益合計 | 16,931 | 47,511 |
| 四半期包括利益 | 1,494,288 | 4,758,655 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 1,494,288 | 4,758,655 |

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

連結の範囲の重要な変更

第1四半期連結会計期間より、Honey Sucrey Limitedを連結の範囲から除いております。

(連結の範囲から除いた理由)

第1四半期連結会計期間において清算手続中であったHoney Sucrey Limitedは、総資産、売上高、当期純利益及び利益剰余金等から見て、連結の範囲から除いても連結財務諸表に及ぼす影響が軽微であり、かつ、全体として重要性がないため、連結の範囲から除外しております。なお、当該連結子会社は、第2四半期連結会計期間において清算終了いたしました。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(四半期連結貸借対照表関係)

(当座貸越契約)

当社及び連結子会社は、運転資金の効率的な調達を行うため取引銀行5行と当座貸越契約を締結しております。これらの契約に基づく当第3四半期連結会計期間末における当座貸越契約に係る借入未実行残高は、次のとおりであります。

| | 前連結会計年度 (2022年3月31日) | 当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日) |
|------------|-------------------------|-------------------------------|
| 当座貸越極度額の総額 | 7,800,000千円 | 7,800,000千円 |
| 借入実行残高 | — | — |
| 差引額 | 7,800,000千円 | 7,800,000千円 |

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の影響に関する会計上の見積り)

当第3四半期連結累計期間においては、前連結会計年度の有価証券報告書の「重要な会計上の見積り」に記載した新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響に関する会計上の見積りの仮定について、重要な変更はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

| | 報告セグメント | | | | | |
|-------------------|-----------|------------|-----------|-----------|--------------|------------|
| | シュクレイ | ケイシイ シイ | 寿製菓・但馬寿 | 販売子会社 | 九十九島 グループ | 計 |
| 売上高 | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 8,238,535 | 7,268,250 | 3,296,039 | 2,202,202 | 1,546,109 | 22,551,135 |
| セグメント間の内部売上高又は振替高 | 268,174 | 206,633 | 1,416,569 | 20,597 | 517,307 | 2,429,280 |
| 計 | 8,506,709 | 7,474,883 | 4,712,608 | 2,222,799 | 2,063,416 | 24,980,415 |
| セグメント利益(△は損失) | 573,403 | 242,574 | 60,804 | △117,121 | △294,753 | 464,907 |

| | その他 (注)1 | 合計 | 調整額 (注)2 | 四半期連結損益 計算書計上額(注)3 |
|-------------------|-------------|------------|-------------|-----------------------|
| 売上高 | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 370,330 | 22,921,465 | — | 22,921,465 |
| セグメント間の内部売上高又は振替高 | 531 | 2,429,811 | △2,429,811 | — |
| 計 | 370,861 | 25,351,276 | △2,429,811 | 22,921,465 |
| セグメント利益(△は損失) | 8,570 | 473,477 | 387,004 | 860,481 |

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、損害保険代理業及び健康食品事業並びに海外(台湾及び香港)における菓子事業が含まれております。なお、香港事業は、現在、清算手続中であります。

2. セグメント利益(△は損失)の調整額387,004千円は、当社とセグメントとの内部取引消去額782,634千円、セグメント間取引消去額6,281千円、棚卸資産の調整額△16,143千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△385,768千円であります。全社費用は、主に提出会社におけるグループ管理に係る費用であります。

3. セグメント利益(△は損失)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

報告セグメントに配分されない減損損失は26,777千円であります。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

| | 報告セグメント | | | | | |
|-------------------|------------|------------|-----------|-----------|--------------|------------|
| | シュクレイ | ケイシイ シイ | 寿製菓・但馬寿 | 販売子会社 | 九十九島 グループ | 計 |
| 売上高 | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 13,917,103 | 9,325,984 | 5,306,761 | 3,855,879 | 2,450,050 | 34,855,777 |
| セグメント間の内部売上高又は振替高 | 364,561 | 367,443 | 2,362,551 | 41,045 | 875,750 | 4,011,350 |
| 計 | 14,281,664 | 9,693,427 | 7,669,312 | 3,896,924 | 3,325,800 | 38,867,127 |
| セグメント利益 | 2,814,734 | 1,314,807 | 1,408,808 | 323,467 | 274,235 | 6,136,051 |

| | その他 (注)1 | 合計 | 調整額 (注)2 | 四半期連結損益 計算書計上額(注)3 |
|-------------------|-------------|------------|-------------|-----------------------|
| 売上高 | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 514,296 | 35,370,073 | — | 35,370,073 |
| セグメント間の内部売上高又は振替高 | 544 | 4,011,894 | △4,011,894 | — |
| 計 | 514,840 | 39,381,967 | △4,011,894 | 35,370,073 |
| セグメント利益 | 62,916 | 6,198,967 | 657,405 | 6,856,372 |

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、損害保険代理業及び健康食品事業、並びに海外(台湾)における菓子事業が含まれております。なお、前連結会計年度まで「その他」のセグメントに含まれ、第1四半期連結会計期間において清算手続中であった香港事業会社Honey Sucrey Limitedは、総資産、売上高、当期純利益及び利益剰余金等から見て、連結の範囲から除いても連結財務諸表に及ぼす影響が軽微であり、かつ、全体として重要性がないため、連結の範囲から除外しております。(当該事業会社は、第2四半期連結会計期間において清算終了いたしました。)

2. セグメント利益の調整額657,405千円は、当社とセグメントとの内部取引消去額1,176,320千円、セグメント間取引消去額6,787千円、棚卸資産の調整額△81,361千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△444,341千円であります。全社費用は、主に提出会社におけるグループ管理に係る費用であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。